

監査事業本部長メッセージ

信頼と安心感を提供する 高品質な監査を実現するための トーマツの3つの取り組み

監査品質の継続的向上に向けた取り組み

監査の品質は、公認会計士個人としての無限責任を負う業務執行社員と、その監査チームにより実現されるべきものです。そして、監査事業本部長には、全ての監査チームに高品質な監査を実践させる責任があります。私は、監査事業本部長として、トーマツの品質管理体制に責任を負う品質管理本部長と緊密に連携し、監査チームにおける高品質な監査の実践をリードしています。

高品質な監査とは、職業的懐疑心を発揮して重要な内部統制の不備や不正を見逃さないという社会の期待に応えることはもちろん、監査の過程において課題を発見し、今後の経営に資する率直な提言を行うことにより、監査先企業の財務報告責任の遂行やガバナンスの向上を通じた企業価値の向上に寄与することです。そして、高品質な監査は、監査先企業はもちろんのこと、監査先企業を通じて、その利害関係者である投資家・株主、市場関係者などの幅広いステークホルダーに信頼と安心感を提供していきます。

高品質な監査を実現するための取り組みとしては、「監査品質推進」「監査イノベーション」「グローバル監査」の3つに重点を置いています。

① 監査品質推進

高品質な監査の実現に法人一丸となってまい進すべく、トーマツでは、監査品質の継続的向上に向けた重要施策を、年次の「Audit Quality Plan」として取りまとめ、全社員・職員に共有しています。このQuality Planの進捗状況は経営意思決定機関やデロイトに報告され、定期的に検証・評価されています。

また、デロイトでは、監査実施者が必ず守るべき行動指針8つを「監査厳守事項(Audit Imperatives)」として掲げており、トーマツでもこの実践を指示しています。加えて、職業倫理と監査品質を最重要視する文化を醸成するコミュニケーション戦略を策定し、私自身が陣頭に立って監査の現場への周知・徹底(Tone at the Top)を図っています。監査品質の向上のための組織体制の強化も進めています。例えば、監査事業本部下に「監査品質推進室」を設置し、品質管理本部と連携しながら、監査品質向上のための諸施策や品質管理の最新動向を踏まえた監査業務のベストプラクティスを、各監査チームに展開・推進しています。ステークホルダーの期待に応えるために、監査チームが年度行動計画を作成し進捗管理する「監査チームアクションプラン」は、その施策の一つです。

② 監査イノベーション

トーマツでは、監査におけるイノベーションを、監査に関わる人や組織を未来に向かって進化させていくこと、と捉えています。とりわけ、IT技術を活用したイノベーションは、監査品質の向上において有用です。例えば、トーマツがAudit Analyticsと呼ぶIT技術は、ITだからこそ実現できる全件精査の効果と効率の両立により、監査チームがより高度な判断業務に集中できるように監査業務プロセスを抜本的に変革します。また国内初の取り組みとしてWebベースの残高確認システムを導入します。こうした様々な活動により、リスクを的確に捉えた監査手続を実施するとともに、監査先企業に新しい価値と信頼を提供する監査の実践を進めていきます。

③ グローバル監査

トーマツでは、グローバルの監査責任者であるリード クライアント サービス パートナー(GLCSP)の指揮のもと、日本の親会社監査チームを頂点とするグローバルでシームレスな監査チームを組成しています。GLCSPには、グローバルで適切なチーム体制を組成する権限と責任が付与されており、海外子会社の監査を担当するデロイト



監査事業本部長
中村 裕治

メンバーファームの監査チームの社員を評価しています。GLCSPが強力なリーダーシップを発揮できる体制が、トーマツのグローバル監査の特徴です。

トーマツからは各国メンバーファームに120名を超える海外派遣者を送っています。また、デロイトには日系企業サービスグループ (Japanese Services Group: JSG) が組成され、国外に約1,000名もの日本語が話せるバイリンガル人材が所属し、日系企業に対するグローバル監査および付随サービスを提供しています。グローバルで統一された監査メソッドロジーや各種監査ツール、人材交流プログラムなどのグローバル人材育成への積極投資などと相まって、グローバルベースで一貫した監査品質を担保する体制を構築しています。

トーマツでは、これらの施策を強力に推進することで、信頼性の高い、安心感のある監査業務をつくり出していきます。

品質向上のための組織体制強化、IT技術を活用したイノベーション、グローバルに力を発揮するチーム組成。この3つの取り組みを通して、トーマツはさらなる進化を続けています。